

平成20年度男女共同参画事業実績状況

目標 男女の人権の尊重

重点課題1: 暴力等を許さない環境づくり

| |
|--|
| 実施区分 |
| A: 現在実施しているもので、今後も継続する事業 (充実していくものも含まれます) |
| B: 平成18年度以降検討、実施予定の事業 |
| C: 計画期間中に検討していく事業 |

| |
|-----------------|
| 評価 |
| a: 取り組みができた |
| b: ある程度取り組みができた |
| c: 取り組みが不十分だった |

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|--------------|----------------------|------|-------|---------------------------|---|----|
| 1 啓発活動の充実 | (1)パンフレットや広報等を活用した啓発 | A | 総務企画課 | 広報掲載(年4回)、啓発パンフレット作成100千円 | 1 広報掲載(3回 19年度実績及び20年度計画、女性に対する暴力をなくす運動、まちづくりに男女共同参画の視点を) 2 役場だより(1回 男女共同参画週間) 3 基本計画内容のHPでの公開 4 パンフレット未作成 | b |
| | | | 保健福祉課 | DVパンフの窓口配付 | DVパンフレットの窓口配布、役場だよりに啓発記事の掲載 | a |
| 2 相談窓口の整備・充実 | (1)相談支援体制の充実、情報の提供 | A | 総務企画課 | 研修会等の参加 | 帯広市男女共同参画セミナーへ2名出席 | c |
| | | | 保健福祉課 | DV担当者の研修等参加 | 関係機関等連絡調整会議への出席 | a |

重点課題2: 男女共同参画の視点に立った意識づくり

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|-----------------------|--------------------------------|------|-------|--------------------------|---|----|
| 1 男女共同参画の視点に立った広報等づくり | (1) 広報・刊行物等における表現方法のガイドライン作成 | B | 総務企画課 | 次年度以降に向けた町民対象のガイドライン作成検討 | 町民対象のガイドラインの検討を計画していたが未検討 | c |
| | (2) 男女共同参画の視点に立った広報紙面づくり | A | 総務企画課 | ガイドラインに沿った広報紙面づくり | 4ヶ月に1回町広報に男女共同参画に関する記事を掲載 | a |
| | (3) 男女共同参画の視点に立った行政刊行物の作成 | B | 全庁 | ガイドラインに沿った行政刊行物の作成 | 2009町民総合情報誌の作成 | b |
| 2 メディア等を活用した男女共同参画の推進 | (1) インターネット、図書等を活用した男女共同の意識づくり | B | 全庁 | ガイドラインに沿ったHPへの掲載 | 男女共同参画週間等の啓発記事をHP上に掲載 | b |
| | (2) 講演会等の実施 | B | 総務企画課 | 1回開催 | 1 第3回女性サミットにおいて開催(21年2月28日 女性のまちづくりへの参画について 帯広大谷短期大学准教授岡庭義行氏 31名出席) | b |

目標 男女が共同に社会参画するための環境づくり

重点課題1: 社会のあらゆる分野への男女共同参画の推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|---------------------------|--|------|-------|--|--|----|
| 1 社会制度・慣行の見直し | (1) 男女の固定的な役割の見直し | A | 全庁 | 広報を利用した啓発 | 広報・HP上で基本計画等を周知(総務企画課) | c |
| 2 政策・立案及び方針決定過程等への女性の参画拡大 | (1) 情報の提供及び参画しやすい場の拡充 | A | 全庁 | 意見公募(パブリックコメント)等の実施 | まちづくり基本条例、耐震改修促進計画 | a |
| 3 審議会委員等への女性の登用促進 | (1) ポジティブアクション(積極的改善措置)に向けた登用率の目標値設定と取り組み(当面30%) | A | 全庁 | 総務: H20任期更新時「情報公開・個人情報保護審査会委員、公共料金等審議会委員」の女性登用率3割以上目標(総務企画課) | 「情報公開・個人情報保護審査会委員」5名中女性3名登用、「公共料金等審議会委員」5名中女性1名登用(総務企画課) | b |
| 4 事業所・団体・地域等への積極的な女性の参画促進 | (1) 女性参画に向けた支援 | C | 全庁 | 検討 | 広報・HP上で基本計画等を周知(総務企画課) | c |
| | (2) 事業所・事業主に対する啓発(商工会との連携) | A | 産業振興課 | 商工会と連携し、女性の各種事業への積極的参画促進 | 商工会と随時連携を図り、商工会女性部組織の育成強化を行う | a |
| 5 女性リーダーの育成 | (1) 女性に対する研修会への参加促進 | A | 教育課 | リーダー研修会の開催 | 女性サミットに併せて開催(10名参加) | b |
| | (2) 女性に対する講座・教室の開催 | A | 教育課 | 女性学級の開催、町内講演会・研修会の開催 | 女性ライフスクール(年間9回)、中士幌(年間4回)・佐倉(年間2回)女性学級の開催 | a |

重点課題2：雇用(就業)の場における男女平等の推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|-------------------------|-------------------------------------|------|-------|---|---|----|
| 1 雇用の場における男女均等な機会と待遇の確保 | (1) 男女雇用機会均等法・労働関係法の関係機関との連携による制度周知 | A | 産業振興課 | 随時、関係機関からの広報掲載依頼を受け付け、関係法を町民に周知 | 次のとおり関係機関からの依頼により周知を行った。 平成20年度全国労働衛生週間実施広報・・・H20.8.29発行役場だより 職場でのトラブル労働相談広報・・・H20.9.12発行役場だより 労働保険適用月間周知広報・・・H20.9.30発行役場だより 北海道最低賃金改正公法・・・H20.10.15発行役場だより 労働保険の年度更新時期変更周知広報・・・H21.3.31発行役場だより | a |
| 2 働きやすい就労支援と環境づくり体制 | (1) 働きやすい環境づくり | A | 子ども課 | 土曜、早朝、残児保育の実施 | 短時間型保育において継続実施 | a |
| | (2) 育児・介護休業制度の啓発と男性の取得の推進 | A | 産業振興課 | 広報誌等により制度の周知・啓発 | 広報しほろ2006年4月号で「男女共同参画社会ってなに？パート3」で啓発したが、本年度は周知啓発を行えなかった | c |
| | (3) 仕事と家庭の両立のため関係機関との連携による制度周知 | A | 産業振興課 | 随時、関係機関からの広報掲載依頼を受け付け、関係法を町民に周知 | 関係機関からの広報掲載依頼はなかった | b |
| 3 自営業における男女対等な環境づくりの促進 | (1) 事業所・事業主に対する啓発(商工会との連携)(再掲) | A | 産業振興課 | 家族で商工業を営んでいる世帯について、女性の労働の適正な経済的評価、労働条件が確保されるよう商工会と連携した啓発実施及び条件整備の推進 | 商工会に情報提供を行い、事業所や事業主からの相談等に際し随時啓発を行う。 | b |
| | (2) 就業条件改善のための支援 | A | 産業振興課 | 酪農ヘルパー事業に対し補助を行うことにより、定期的な休日、代替労働力の確保等、就業条件の整備推進 | デーリヘルパーコーポレーション事業活動助成金：1,850千円 | a |
| | (3) 家族経営協定等の啓蒙による労働環境の整備と経営への参画促進 | A | 農業委員会 | 制度の普及推進を図ることで、近代的な農業経営の確立や女性・青年の経営参画の実現に向けた条件整備を進める。 | 締結1件は親子関係である。制度の周知をした結果、若年層を中心に認識が浸透しつつある。 | b |
| | (4) 女性の認定農業者への誘導 | B | 産業振興課 | 家族経営協定を締結した農家をメインにした誘導 | 女性経営主への誘導のみ実施 | c |

重点課題3：女性の自主的活動への支援

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|----------------------|--------------------|------|-------|--|---|----|
| 1 女性グループの地域活動の積極的な展開 | (1) 活動に対する支援 | A | 教育課 | 女性連助成金交付 252千円 団体活動への指導・助言 | 女性連助成金交付 252千円 団体活動への指導・助言 | a |
| | | | 産業振興課 | 商工会に対し各種活動支援及び補助を行うことにより、商工会女性部活動の積極展開を図る。アグリ研究グループに対し補助を行うことにより、アグリサミットの開催や農業技術の研鑽活動を支援 | 商工会活動助成金：18,945千円 商工業活性化推進事業助成金：4,000千円 アグリ研究グループ活動助成金：427千円 | a |
| | (2) 女性に対する講座・教室の開催 | A | 教育課 | 女性学級の開設、町内講演会・研修会等の開催、各団体等事業への助言・支援 | 女性ライフスクール(年間9回)、中土幌(年間4回)・佐倉(年間2回)女性学級の開催、3学級合同学習会の開催(21年1月26日 裁判員制度について 釧路地方検察庁帯広支部総務課長 山下 善功 氏 34名出席) | a |
| 2 女性の起業活動の推進 | (1) 女性起業の育成・支援 | A | 産業振興課 | アグリ研究グループに対し補助を行うことにより、新たな視点のノウハウを習得し、活動の強化を図る。 | アグリ研究グループ活動助成金：427千円 | a |
| | | | 産業振興課 | 商工会やアグリネットと連携し、女性の起業を支援するため、起業のため各種講座、起業相談などの情報提供 | 商工会と連携し、女性の起業相談に随時対応する体制をとっており、2件の起業相談を受けている。なお、平成21年2月28日開催の第3回女性サミットにおいて、農商工連携事業の説明を行った。 | a |

目標 男女が共に安心して暮らせる環境づくり

重点課題1:安心して子育てができる環境整備

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|--------------------------------|----------------------------|-------|-----------|--------------------------|--|----|
| 1子育て支援策の推進 | (1)乳幼児健診での育児不安・相談機会の提供 | A | 保健福祉課 | 乳幼児健診年12回、赤ちゃん相談年12回開催 | 乳幼児健診受診95%以上、赤ちゃん相談年12回延べ69人来所相談 | a |
| | (2)乳児期医療体制の整備 | A | 国保病院 | 小児科医招聘の継続 | 小児科医不足のため、招聘できず。 | c |
| | (3)乳幼児の医療費支給 | A | 保健福祉課 | 継続 | 9,620千円支給 | a |
| | (4)児童虐待の相談支援体制の充実 | A | 保健福祉課 | 要保護児童対策地域協議会の開催 | 案件事項がなかったため未実施 | a |
| | (5)保育時間の延長 | B | 子ども課 | 30分間の延長実施 | 4月から降園時間の30分繰り下げにより、18時から18時30分に変更実施 | a |
| | (6)障がい児保育事業 | A | 子ども課 | 受入実施 | 町内保育所(園)受入れ 4名 | a |
| | (7)一時保育事業 | A | 子ども課 | 継続実施 | 利用延べ世帯数 47世帯 | a |
| | (8)ファミリーサポート事業 | A | 子ども課 | 継続実施 | 年間延べ利用件数 245件 | a |
| | (9)地域子育て支援センター事業 | A | 子ども課 | 継続実施 | 子育て支援センター及び子ども課子育て支援係が中心となり各事業実施 | a |
| | (10)放課後児童健全育成事業 | A | 子ども課 | 継続実施 | 3施設開設 利用実人数 67名 | a |
| | | | 教育課 | サダデイスクール開設 3,420千円 | サダデイスクール開設 3,325千円(中土幌福祉事業会への委託 2,850千円、NPO東大雪自然ガイドセンターへの委託 475千円) | a |
| | (11)学習・スポーツの場所の提供(総研の利用促進) | A | 教育課 | 祝日の開館継続(年末年始及び火曜日以外) | 実施 | a |
| | (12)家庭教育相談事業 | A | 子ども課 | 子育て支援事業及び発達支援センター事業により対応 | 子ども課子育て支援係 11件 子育て支援センター 24件 | a |
| | (13)保育所(園)地域活動事業 | A | 子ども課 | 高齢者施設訪問、地域事業への参加 | 特別養護老人ホーム・ケアハウス訪問 | a |
| | (14)ひとり親医療費助成事業 | A | 保健福祉課 | 継続 | 733千円の助成 | a |
| (15)乳幼児健診・予防接種等の日時、場所、実施方法の弾力化 | C | 保健福祉課 | 個別接種の体制整備 | 個別接種については、一部のみ実施 | b | |

重点課題2：地域社会活動参画に向けた支援

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|-------------------|---------------------|------|--------------------|-----------------------------------|--|----|
| 1 社会生活と家庭生活の両立支援 | (1) 保育時間の延長(再掲) | B | 子ども課 | 30分間の延長実施 | 4月から降園時間の30分繰り下げにより、18時から18時30分に変更実施 | a |
| | (2) 障がい児保育事業(再掲) | A | 子ども課 | 継続実施 | 町内保育所(園)受入れ 4名 | a |
| | (3) 一時保育事業(再掲) | A | 子ども課 | 継続実施 | 利用延べ世帯数 47世帯 | a |
| | (4) ファミリーサポート事業(再掲) | A | 子ども課 | 継続実施 | 年間延べ利用件数 245件 | a |
| | (5) 放課後児童健全育成事業(再掲) | A | 子ども課 | 学童保育事業の支援 | 3カ所開設 延べ利用人数 67名 | a |
| | | | 教育課 | サダデイスクール開設 3,420千円 | サダデイスクール開設 3,325千円(中土幌福祉事業会への委託 2,850千円、NPO東大雪自然ガイドセンターへの委託 475千円) | a |
| (6) 外出支援サービス | A | 子ども課 | 一時保育、ファミリーサポート事業実施 | 子育て支援センターで実施 | a | |
| 2 介護を支援するための施策の推進 | (1) 地域支援事業 | B | 保健福祉課 | 高齢者筋力向上教室年50回、業塾年48回、脳活性化教室年52回開催 | 高齢者筋力向上教室年25回開催延べ241人、卒業塾148回開催延べ1,104人、脳活性化教室年48回開催延べ808人 | a |
| | (2) 住宅改修指導事業 | A | 保健福祉課 | 必要時会議を開催し検討 | 年7回開催 12事例実施 | a |
| | (3) 訪問理美容サービス | A | 保健福祉課 | 平成19年度より廃止 | | |
| | (4) おむつ支給 | A | 保健福祉課 | 該当者に支給 | 該当者無し | a |
| | (5) 介護者のつどい | A | 保健福祉課 | 年4回開催 | 年4回実施 延べ12人 | a |
| | (6) 介護教室 | A | 保健福祉課 | 年4回開催 | 年2回開催 延べ31人 | b |
| | (7) 地域包括支援センター | B | 保健福祉課 | 1カ所町に設置 | 設置済み、円滑に運営 | a |
| 3 地域社会活動への支援 | (1) 地域住民グループ支援事業 | A | 保健福祉課 | ふれあいサロン活動の支援 | 13箇所で開催 | a |

目標 生涯にわたる健康な生活への支援

重点課題1：母性保護と女性の健康の意識啓発

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|---------------------|-------------------|------|-------|----------------------------------|-----------------------|----|
| 1 妊娠・出産期における健康づくり支援 | (1) 妊婦健康診査費助成事業 | A | 保健福祉課 | 妊婦一般健康診査費助成5回、超音波検査費助成2回、その他妊婦健診 | 全妊婦に助成 | a |
| | (2) パパママ教室 | A | 保健福祉課 | 6月、10月、2月各3回開催 | 6・10・2月各3回開催延べ69人 | a |
| | (3) 妊産婦・新生児訪問事業 | A | 保健福祉課 | 乳児訪問第1子、第2子全員訪問、妊婦は必要時訪問実施。 | 全乳児及び産婦に訪問、妊婦訪問は対象者なし | a |
| 2 性と生殖に関する健康と性教育の推進 | (1) 性に関する指導の取り組み | C | 教育課 | 各学校授業で計画 | 授業による取組実施 | a |
| | | | 高校 | 「ほけんだより」及び保健の授業での指導を予定 | 「ほけんだより」での指導を実施 | b |
| | (2) 外部講師による講話会の実施 | A | 高校 | 関連各部と協議しながら、実施するか検討 | 未実施 | c |

重点課題2：高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせる環境の整備

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|----------------------------|-----------------------------|-------|----------------------|--------------------------------|--------------------------------|----|
| 1 高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策の推進 | (1) 老人クラブ、柏樹大学・大学院等を通じた生涯学習 | A | 教育課 | 継続開設 675千円 | 継続実施 710千円 | a |
| | (2) 高齢者と児童・生徒の交流事業の開催 | A | 教育課 | 小・中学生と柏樹大学・大学院の交流事業の開催 | 祖父母参観日(土幌小)インタビュー学習(中央中1年生)の開催 | b |
| | | | 高校 | 社会福祉制度、プロジェクト活動、社会福祉基礎の授業で実施予定 | プロジェクト活動、社会福祉基礎の授業で実施 | b |
| | (3) 検診後の健康教育の推進 | B | 保健福祉課 | 特定保健指導のグループ支援で実施 | 特定保健指導45%実施 | a |
| (4) 高齢者虐待の相談支援体制の充実 | A | 保健福祉課 | 地域包括支援センターが相談窓口となり実施 | 関係機関との検討会議の開催1回 | a | |
| 2 障がい者の生活支援とやさしいまちづくりの推進 | (1) 心身障がい児の療育体制の充実 | A | 保健福祉課 | 発達支援センターを中心に、連携を図り療育体制を充実する。 | 発達支援センターと連携を図り実施 | a |
| | (2) 障がい児保育事業(再掲) | A | 子ども課 | こども園による受入実施 | 町内保育所(園)受入れ 4名 | a |
| | (3) 発達支援センターの設置及び専門指導員の配置 | B | 子ども課 | センターとの連携強化 | 専門指導員 1名配置(言語聴覚士) | a |

目標 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実

重点課題1：家庭における男女共同参画教育・学習の推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|--------------------------------|-------------------------------------|------|-------|--------------------------------------|---|----|
| 1従来の家族制度にとられない家庭環境の重要性について啓発 | (1)男女共同参画に向けた啓発 | A | 総務企画課 | 広報、HP等の活用 | 広報による啓発(3回) | b |
| | | | 子ども課 | 園だより等の活用 | 園だより 毎月第2・4金曜日発行 子育て支援だより 毎月1回発行 | a |
| 2家事、育児、介護は、男女が共に担う意識の醸成 | (1)青年男女の子育ての大切さ、楽しさを実感できる事業の検討 | C | 教育課 | みんなで教育を考える集いの開催 | 第3回みんなで教育を考える集いを3/15に開催(文化・スポーツ賞等表彰式の他「心豊かな人生のために」と題し、エッセイスト・教育評論家の松尾つよし氏による講演(180名参加)) | b |
| | | | 高校 | 事業の実施に向け検討 | 未実施 | c |
| | (2)男性の家事、育児、介護への参加促進 | A | 保健福祉課 | パパママ教室における夫の受講を増やす。育児参加を意識した内容を取り入れる | パパママ教室の夫の参加率は4割弱 | b |
| | | | 子ども課 | 子育て支援事業により対応 | 外部講師による講演会 1回開催「男の家事が社会を変える」 | a |
| 3男女共同参画の視点に基づいた家庭教育に関する学習機会の提供 | (1)家庭教育に関する懇談会の実施 | C | 子ども課 | 地域子育て支援センター事業により実施 | こども園園長講師により、乳幼児学級において講話「家庭における育児」 | a |
| | | | 教育課 | 家庭教育学級への指導助言等の支援 | 取り組みなし | c |
| | (2)生涯学習出前講座を活用した事業また、関係団体と連携した事業を展開 | A | 教育課 | 土幌町女性連と連携した講演会等の開催を検討 | 女性連が、女性まつりの中で、単独開催 講師 料理研究家「村田ナホ氏」が食育をテーマに開催(250名参加) | b |
| | | | 総務企画課 | 男女共同参画に関する出前講座の実施 | 生涯学習講座による講演会を予定していたが未実施 | b |

重点課題2：学校における男女共同参画教育・学習の推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|------------------------------|------------------------|------|-----|-----------------------|--------------------|----|
| 1男女共同参画に関する教職員の研修機会の充実 | (1)教職員研修の実施 | C | 教育課 | 関係機関による研修会の周知 | 周知ができなかったため次年度取り組む | c |
| | | | 高校 | 研修の実施に向け検討 | 未実施 | c |
| 2家事、育児、介護など男女が共に担う視点からの教育の推進 | (1)小学生の家事、育児、介護の体験学習 | C | 教育課 | 授業による継続的な取組 | 授業による取組実施 | a |
| | (2)中、高校生の家事、育児、介護の体験学習 | A | 教育課 | 実施に向け検討 | 授業による取組実施 | a |
| | | | 高校 | 介護学習については、福祉関係授業で実施予定 | 社会福祉プロジェクト学習で実施 | a |
| 3男女共同参画の視点に立った学習の推進 | (1)家庭科、技術科、保健体育授業の男女共修 | A | 高校 | 生活技術の授業で実施予定 | 生活技術の授業で実施 | a |
| | | | 教育課 | 各学校授業で取組 | 授業による取組実施 | a |

重点課題3：社会における男女共同参画教育・学習の推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|-------------------------|-------------------------|------|-------|---------------|---|----|
| 1地域における男女共同参画社会づくりへの醸成 | (1)子育て意見交換会 | C | 子ども課 | 子育て支援事業により実施 | 多くの女性の参加があるが、男性の参加が非常に少なく、参加しやすい行事開催ができなかった | b |
| | (2)井戸端会議開催 | C | 子ども課 | 子育て支援事業により実施 | | b |
| 2男女共同参画の視点に基づいた社会教育の推進 | (1)男女がともに参加できる社会教育事業の検討 | C | 教育課 | 講演会等の開催 | 第3回みんなで教育を考える集いを3/15に開催(文化・スポーツ賞等表彰式の他「心豊かな人生のために」と題し、エッセイスト・教育評論家の松尾つよし氏による講演(180名参加)) | b |
| 3女性問題に関する広報、啓発及び情報収集と提供 | | A | 総務企画課 | 広報、HP等を利用した啓発 | 第2回女性サミットを広報で紹介 | b |
| | | | 保健福祉課 | 役場だよりによる啓発 | 町内施設への相談窓口カードの配布 | a |

目標 国際社会における交流・協力の推進

重点課題1: 国際交流と国際協力への参画推進

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|-----------------------|--------------------------|------|-----|----------------------------------|---|----|
| 1 国際交流・国際活動への参画推進 | (1) 女性を対象にした文化交流教室等の開設 | A | 教育課 | 十勝インターナショナル協会と共催で事業の開催(女性学級等) | 女性ライフスクールで11/20に開催(十勝インターナショナル協会より講師に牛島ロシオ氏を迎えて実施(22名参加)) | a |
| | (2) 在外体験者による英語教育の実施 | B | 教育課 | 英会話サークル等へのALTの派遣 | 週1回派遣を実施 | a |
| 2 多様な文化や異なる国籍を持つ人との共生 | (1) 国際理解教育 | A | 教育課 | サタディスクール等への派遣 | 中士幌児童ステーションへ月1回派遣を実施 | a |
| | (2) 外国語指導助手(ALT)による授業の実施 | A | 教育課 | 各小学校の英語教育、中学校・高校英語授業への派遣 6,262千円 | 各小学校の英語教育、中学校・高校英語授業への派遣 5,495千円 | a |

目標 推進体制の確立

重点課題1: 庁内推進体制の強化

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|---------------------|-------------------|------|-----|---------------------------|-----------------------------------|----|
| 1 推進体制の強化と施策評価体制の整備 | (1) 定期的な会議と情報の共有化 | B | 全庁 | 庁内推進委員設置及び定期的会議の開催(総務企画課) | 男女共同参画推進委員会1回開催(19年度実績20年度計画について) | b |

重点課題2: 推進管理体制の確立

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|------------------|----------------------|------|-------|---------------------|--------------------------------|----|
| 1 男女共同参画審議会による検証 | (1) 各種審議会の登用率検証 | B | 総務企画課 | 各種審議会委員登用率調査、審議会の開催 | 各種審議会委員登用率調査(4月実施)、審議会開催1回(1月) | a |
| 2 調査研究・情報収集、提供 | (1) 各種審議会の登用率の調査、公表 | A | 総務企画課 | 各種審議会委員登用率結果公表 | 各種審議会委員登用率結果公表(広報7月号掲載) | a |
| | (2) 町民の男女共同参画意識調査、公表 | B | 総務企画課 | 次年度以降の実施に向けた検討 | 未検討 | c |

重点課題3: 民間団体及び町民との協力連携

| 施策の方向 | 事業内容 | 実施区分 | 担当課 | 平成20年度実施計画内容 | 平成20年度実施状況及び決算額 | 評価 |
|------------------|------|------|-----|-----------------------|------------------|----|
| 1 行政と町民相互等の協力と連携 | | A | 全庁 | 地区担当者を通じた協力と連携(総務企画課) | パートナーシップ事業申請等の協力 | b |